

モンゴル国 バヤン・ウルギー 地域開発プログラム (MOG-184842)

World Vision
Mongolia

チャイルド・ストーリー 恥ずかしがり屋の少女が すばらしい話し手に変身

バヤン・ウルギー地域開発プログラム（以下、ADP）の支援地域で暮らすブレンちゃんは、幼い時に先天性股関節脱臼が見つかり、あまり外に出ることができませんでした。そのせいか、ブレンちゃんはもの静かで恥ずかしがり屋の、口数の少ない女の子だったと言います。しかし、8歳の時にワールド・ビジョン（以下、WV）のチャイルドとして登録され、松葉づえと車いすの提供を受けてから、徐々に外に出ることができるようになりました。そして今では、ADPが10代の子どもたちのために行っている子ども協議会で、リーダーの一人に選ばれるほど積極的でよく発言する若者に成長しました。



食事の支度をするブレンちゃん（17歳）と母親のカンヨさん



家で勉強するブレンちゃん。将来は外国（できれば日本）で勉強したいという夢を持っています

ブレンちゃんの変化には母親のカンヨさんも驚いています。「以前の彼女は友だちもあまりおらず、寂しそうでした。でも今では大勢の人の前でも話せるくらい、自分に自信を持てるようになりました。」ブレンちゃんの父親と3人の兄妹は、バヤン・ウルギーから1600キロ以上も離れた首都のウランバートルで働いたり勉強したりしています。ブレンちゃんはまだ足が少し不自由ですが、母親の家事を手伝い、勉強にも熱心に取り組んでいます。日本のチャイルド・スポンサーから届く手紙や写真に励まされ、外国にも興味を持つようになったブレンちゃん。将来は外国、できれば日本で勉強したいと夢をふくらませています。

教育プロジェクト



ADPの支援で県知事・地方政府関係者と障がい児センター関係者の話し合いが実現し、財政支援が受けられることになりました

教育の質の向上と平等な機会の提供に取り組んでいます

教員**110**人が近代的な教育手法についての研修に参加



経済成長の途上にあるモンゴルでは、教育や社会保障は必ずしも政府の優先施策ではありません。そこで、政府の支援が行き渡っていない学校や幼稚園への支援を行っています。教員を対象に教授法の研修を実施するとともに、「ミニ図書館」や「読む力を伸ばそう！」といったキャンペーン活動を教員と共催するなど、教育の質を高める取り組みを進めています。また、保護者を巻き込んだエッセイコンペなど様々なイベントも行いました。

これらの活動と子どもたちの努力により、支援地域の小学校5校で読解力のテストをしたところ、十分な読解力があると認められた子どもの割合が、2013年の78%から85%に増加しました。全国平均の89%を目指し、今後も学校の設備や教育環境の改善に引き続き取り組んでいきます。

経済開発プロジェクト



収入向上のために、支援を受けて温室での野菜栽培を始めた農家の子どもたち

地域住民のビジネス能力向上に取り組んでいます

小規模ビジネスの普及研修に**37**人の子どもも参加



畜産はこの地域の主たる収入源ですが、2013年に牛の感染症が流行したため、多くの世帯がその収入源を失いました。このため、収入源の多様化と、市場経済の仕組みにあったビジネス能力養成の必要性が改めて認識されています。ADPでは、これまでも小規模ビジネス起業のための研修を行ってきましたが、2014年はその研修に37人の子どもも参加しました。将来の地域を担う世代に、早い時期からそのセンスと能力を養ってもらうことが目的です。また既存の小規模ビジネス・グループを集めて政府と共催で実施した会議では、参加者から「一村一品」に取り組み、地域の外へ売りに出せる製品を見つけようという声も上がりました。

収入や生活基盤を脅かす災害への対策については、村々の防災計画の見直しにADPが協力しました。また、州政府とともに企画した地域に根差した防災(減災)研修には、900人の地域住民に加えて1,032人の児童も参加し、救急処置の方法について学びました。



州政府とともに実施した防災研修の様子

保健衛生プロジェクト

これまでの成果を踏まえて、子どもの健康のさらなる増進に努めています



地域や医療機関の連携で7,562人の子どもたちの健康診断を実施

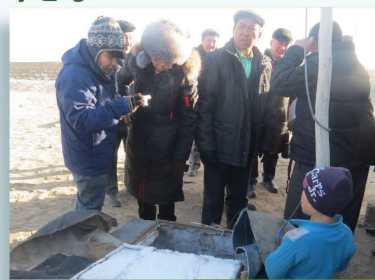
2013年度までの最初の5年間の活動の成果を受けて、2014年度からはこれまでの成果をさらに拡大、定着させる取り組みを行っています。

2014年度は延べ616人の医師と14人のソーシャル・ワーカーに対して、サービス改善のための研修と、他の地域の好事例を学ぶ視察を行いました。この活動を通して地域と医療機関の連携が深まり、7,562人の子どもたちの健康診断を実施し、その中から473人の栄養不良の子どもを発見し、対応することができました。

水衛生に関しては、安全な水の使用についての啓発とともに、340家族に対して手掘りの浅井戸から深井戸への切り替えを支援しました。また、チャイルド・トゥ・チャイルドと呼ばれる子どもから子どもへの啓発活動を、学校を通して推進しました。



健康診断を受ける支援地域の子ども



深井戸の建設工事の様子

支援地域の女性のインタビュー

仲間の女性と縫製ビジネスを始めました

Q. 家族構成を教えてください。

A. 夫と5人の子どもがいます。

Q. 子どもの頃学校に通いましたか。

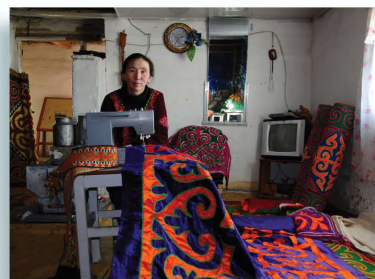
A. 8年生の課程まで修了しましたが、両親の手伝いで家畜の世話をしなければならず、それ以上勉強を続けることはできませんでした。

Q. ADPのどのような活動に参加しましたか。

A. 小規模ビジネスの研修に参加しました。研修を受けた後、4人の仲間とグループを作り、縫製ビジネスの提案書を書いてADPに提出したところ、アイロンと4台の電動ミシンの提供を受けることができました。以前使っていた手動ミシンに比べて格段に早く縫えるようになり、たくさん仕事ができるようになりました。

Q. 今の夢を教えてください。

A. ずっと欲しかった電動ミシンを提供してもらい、とても感謝しています。今の夢は、仕事場にできるような広い家を建てることです。



ADPから提供を受けた電動ミシンで縫製の仕事をするバザルゲールさん（37歳）



普段の食事は、シチュー、ヤギや羊の肉、麺、パンなどです

Q. ADPでどのような仕事をしていますか。

A. 地域の人々のための保健分野の研修の計画と実施を主に担当しています。また、担当する97人のチャイルドに手紙を届けたり、手紙や成長報告の書き方を指導したりもしています。

Q. 工作上難しいと感じることは何ですか。

A. 地域の組織や人々は、WVからただ物資だけをもらおうとしがちで、研修を開催しても以前はあまり人が集まりませんでした。そこで、FM放送で研修について事前に案内するようにしたところ、多くの人々が参加してくれるようになりました。人々に物資を提供するときも、地域の一人ひとり、組織の一つひとつに、WVの活動について説明するようにしています。

Q. ADPで働く上で原動力となっているものは何ですか。

A. 私の仕事は、地域に住む母親と子どもたちの健康状態を改善することです。一人ひとりの母親や子どもの健康状態が良くなっていくのを見ると、喜びを感じます。



エルデネザヤ・グンチン
スタッフ (35歳、右)

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

チャイルドとの手紙の交流や毎年の成長報告などを通して、支援の成果を実感していただくための活動を行っています。そのため、チャイルドの成長を定期的にモニタリングし、支援事業がチャイルドとその家族、さらに地域の人々の生活をどのように改善しているのか確認を行っています。

子どもたちの健やかな成長を推進するため、2014年度は夏休みの読書奨励キャンペーンや、子どもたちが将来の職業を考える「わたし/ぼくの夢」絵画コンテスト、子どもたち同士の交流を促進するための1日遠足などを実施しました。

また、チャイルドの家族や地域の人たちが「子どもを中心とした開発」を理解し、その支援活動の中心を担っていくような啓発活動の一環として、2014年度から子ども協議会の設立を支援しました。協議会では、子どもたち自身が地域の問題を話し合い、それを地域の指導者たちと話し合ったり、地域のテレビ番組で訴えたりもしています。



多くの子どもたちが参加した1日遠足の様子

会計報告

収支計算書

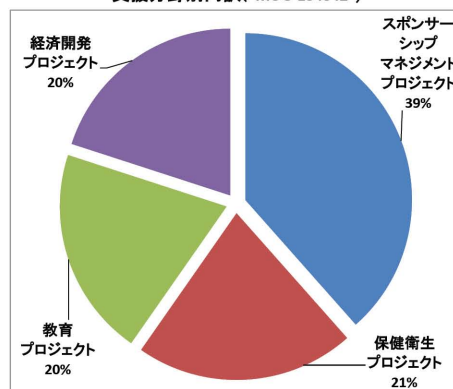
自 2013年 10月1日 至 2014年 9月30日

	MOG-184842 (単位:円)
プログラム支援額	
チャイルド・スポンサーシップ	52,736,290
当期支援額	52,736,290
前期繰越金	1,777,635
プログラム支援額合計	54,513,925

プログラム支出額	
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	20,592,068
保健衛生プロジェクト	11,371,008
教育プロジェクト	10,866,218
経済開発プロジェクト	10,707,832

プログラム支出額合計	53,537,126
次期繰越額	976,799

支援分野別内訳(MOG-184842)



「わたし/ぼくの夢」絵画コンテストで描いた絵を見せる子どもたち

お問い合わせ

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

電話 : 03-5334-5351 FAX : 03-5334-5359

email : dservice@worldvision.or.jp

ホームページ : www.worldvision.jp

ワールド・ビジョン・ジャパンの活動についての最新情報を掲載してあります。

ホームページにぜひお立ち寄りください。